

(様式第7号)

おおさかグローバル奨学金留学報告書

平成 27 年 4 月

日

学 校 名		奨学金 交付年 度		平成 年度
氏 名				
留 学 期 間	平成 26 年 3 月 29 日 ~ 27 年 2 月 4 日			
留 学 先	国 名	アメリカ合衆 国	学校 名	エドモンズコミュニティーカレッジ
専 攻				

留学中の生活、留学の成果、留学で得たことをどのように活かすか、これから留学する人へのアドバイス等について 2000 字以上で記入してください。

10ヶ月間のシアトルでの生活は私にとって新しく学ぶ日々であり、また広い視野を与えてくれたたくさんの人との出会いの連続でした。シアトルに到着してすぐ、暖かいインドネシア人のホストファミリーと出会いました。英語をこれまで授業で学んできたとはいえ、生活の中で使ったことがなかった私が初めて日本語を使えない状況におかれ、不安でいっぱい気持ちでした。そんな私を、会ってすぐ笑顔で抱きしめ迎え入れてくれたホストファミリーの暖かさに救われた気持ちでした。10ヶ月間の留学でもしこの家族がいなかったらと考えると感謝の思いが溢れてきます。留学中の生活は、平日は月曜日から金曜日まで毎日午前9時半から午後3時半まで授業がありました。私のクラスは全員日本人で午前中は現地で通っていたコミュニティーカレッジの先生によるESLの授業でした。テキストを使って文法や発音の練習をしたり、時には映画や流行りの歌から英語を学んだりとても楽しい授業でした。1学期に1回づつ程度プレゼンテーションの授業があり、一人一人パワーポイントやポスターを製作し、英語でプレゼンテーションをしました。最初は私にとってとてもハードルの高いことのように思えましたが、ホストファミリーや友人に協力してもらい英語で上手く伝える練習をしたりして、自信を持って発表できた時にはとても自信ができました。単に英語で話すだけでなく、人前で自信を持ってPRするということができ、これまで自分になかった力を身に付けることができました。それはいつも明るく励まし、とても協力的な先生のおかげでした。プレゼンテーションの仕方を悩んでいると、周りはパワーポイントを使った発表が多いので、あえてポスターで差別化してみてもいい？という先生の提案から、教室の広さに見合った紙を勧めてくれたりと、とても協力してくれました。そんな先生の期待に応えたいと私のやる気にもつながり、限られた時間の中で、一年間の私だけの留学をプレゼンするポスターを製作し、クラスで賞を貰うことができました。自分の自身に繋がったことは一つの大きな進歩だと思いますが、それ以上に周りの協力やそんな暖かい人たちに支えられていることへの感謝に気

づくことができたことが私にとって大切なことだと感じました。そして、私たちの留学プログラムでは TOEIC に力を入れており、留学中には 2 カ月に 1 度 TOEIC を受けてきました。準備でも TOEIC の対策があったり、面白く退屈しない授業のおかげで楽しく勉強することができました。といっても私は授業の他に特別勉強に力をいれた訳ではなく、むしろ家では試験前日以外はほとんど勉強をしませんでした。それよりも、色んな人との交流ができるトークタイムというコミュニティーグループに参加したり、ホストファミリーとの時間を優先しました。今となってはもう少し机上での勉強に力を入れるべきだったかとは思いますが、何より人とのコミュニケーションによって楽しく英語を学べたのではないかと思います。それによってすぐに適應できる生きた英語を学ぶことができたし、また人との繋がりもでき、自分に合った学び方の一つであったように思います。留学中最後の TOEIC では目標であった 800 点を超えることができました。これから留学に行く人には、机上の勉強ももちろん大切ですが、むしろ留学中には日本ではできない英語の勉強法に目を向けることをお勧めしたいと思います。そして何より人とのコミュニケーションから学ぶこと、人との繋がりや素晴らしさ、楽しさを是非体験して欲しいと思います。その他に、私はインターンシップやボランティアで DJ のアシスタントとしてパーティやウェディングに携わらせて頂いたり、フードトラックで接客をしたり、幼稚園で保育士のサポートをしたりと様々な仕事を通してアメリカの社会を学ぶことができました。日本でこれまで当たり前だと思っていたことがそうでないことに気付いたり、単に違いだけでなく、それぞれの素晴らしさに改めて気づくことができました。例えば、サービスにおいてやはり日本のおもてなし精神は格別だと再認識しました。しかし、また文化の違いによって、日本で喜ばれるサービスも誰にでも当てはまることではないのだと気づくことができ、一人一人に合ったサービスというのが真のサービスだということも学びました。私は今後ホスピタリティー業界で活躍したいと思っているので、世界という広い視野からサービスを学べたことはとても貴重な体験であり、今後日本が誇るサービスを自ら提供していくにあたってさらに追求していきたいと思います。留学前は、帰国後どれくらい英語が話せるようになるか、どのように勉強したらいいかなど、英語を学ぶことしか考えていませんでしたが、実際留学をしてみると、英語を学ぶ以上に大切なことが山のようにあることに気づかされました。もちろん英語が完璧に話せたらもっと自分の伝えたい気持ちや気遣いを表現できるのに。と悔しい思いをしたこともあります。それでもそんな気持ちを持って接することができる人がたくさんいること、拙い英語力にも一生懸命理解しようと耳を傾けてくれる人の暖かさに触れることがどれだけ幸せなことであるか、そんな小さな当たり前のことに目を向けられるようになりました。また、日本での生活では日々の忙しさに追われて見過ごしていた大切なものにたくさん気づくことができました。ただの何も無い晴れた 1 日が雨の多いシアトルではどんなに貴重な尊いものであるか、お金を使わなくても湖の周りをゆっくり散歩して行き交う人と笑顔であいさつをすることがどんなに楽しい時間であるか、本当の豊かさを学んだように思います。これは日本に帰国して、また元の生活に戻っても忘れたくない大切なことだと思い、帰国した今でもゆっくり自分の時間をとったり、あいさつを大切にするなど、心がけています。10 カ月の留学中での人との出会い、経験、たくさん気づきによって英語以上に人として大切なことをたくさん学ぶことができました。私が学び得たこと以上にまだまだ知るべきこと、出会うべき人、もの、が日本の外には溢れていると思います。日本での生活を経験して、これから海外へ行く方には想像以上に得られるこ

とがあるということに期待して留学生生活を満喫して欲しいと思います。そして、留学中にはいろんな場所に行き、その場所を肌で感じることををお勧めします。そのためにはある程度お金に余裕がある方が望ましいと思いますし、安すぎる旅行では治安の面でもお勧めできないので、是非留学前にお金を貯めておいてください。そして、いつでも前向きで積極的な姿勢で何事も取り組むことで、期待以上の留学生生活を送ることができると思います。私はこの貴重な10カ月の留学を終えて、自分の将来を考えるにあたってたくさんの視野から物事をみることができるようになりました。留学で得た英語力、感性、人との繋がりを絶えず生かしてこれから社会に貢献していきたいと思っています。

※上記の内容については、公表される場合があることを了承します。